



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL <http://www.okwave.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績 (平成27年7月1日～平成27年12月31日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,178	△15.8	48	—	48	—	26	—
27年6月期第2四半期	1,399	△13.1	△46	—	△11	—	△44	—

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 26百万円 (—%) 27年6月期第2四半期 △49百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	3 01	3 01
27年6月期第2四半期	△5 13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	1,710	1,323	76.8
27年6月期	1,688	1,291	75.9

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 1,312百万円 27年6月期 1,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0 00	—	0 00	0 00
28年6月期	—	0 00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想 (平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	△8.7	100	629.0	100	110.2	70	228.9	8 04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年6月期2Q	8,723,000株	27年6月期	8,703,000株
28年6月期2Q	60株	27年6月期	60株
28年6月期2Q	8,717,233株	27年6月期2Q	8,698,940株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成28年2月9日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的概況

当第2四半期連結累計期間(平成27年7月1日～平成27年12月31日)において、エンタープライズソリューション事業は過去最大の売上高及び利益で進捗しております。しかしながら前期に連結子会社の株式会社ブリックスにて不採算サービスからの撤退、ソーシャルメディア事業において一部企業へのQ&Aデータベースの提供を終了したことから、売上高は1,178,580千円(前年同期比15.8%減)となりました。

利益面においては、当社並びに株式会社ブリックスにおいて原価構造の見直し、また業務効率化を図ったことから、利益率が大幅改善されました。また、販売費及び一般管理費においても広告宣伝費などが抑制されたことから、営業利益は48,260千円(前年同期46,220千円の損失)、経常利益は48,619千円(前年同期11,133千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26,274千円(前年同期44,660千円の損失)となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	1,178,580	△220,762	△15.8
営業利益	48,260	94,481	—
経常利益	48,619	59,752	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26,274	70,935	—

② 事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWAVE(オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

当期においては、Q&Aサイト「OKWAVE」にてマイページの大規模リニューアルを行ったほか、AI技術活用の第一弾として「いま みんなが気になるQ&A」の自動表示や「こびとづかん」とコラボレーションした“こびと探し”キャンペーンなど、利用者により密着する新しい取り組みを実施いたしました。また、広告配信枠の価値を高める営業活動に注力したことから、広告単価が堅調に推移いたしました。しかしながら売上高においては、一部企業へのQ&Aデータベースの提供を終了したことに加え、スマートフォンの普及を受け、PCより広告単価の安いスマートフォンからの流入割合が増えたことから、減少となりました。

利益面においては、売上高の減少、並びに連結子会社のOKWAVE INC.にて次世代を担うQ&Aサービスの開発費用が高んだことから、次の通りの結果となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	154,766	△97,640	△38.7
セグメント損失(△)	△8,498	△33,338	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBIZ.（オウケイビズ）」など、企業向けのソリューションを提供しています。

近年、コールセンター/CRMデモ&コンファレンス等のマーケティング活動に加え、当社独自の業界別ユーザ会やセミナーを定期的で開催してきたことから、カスタマーサポートにおけるWEBの重要性が浸透すると共に、当社製品サービスの認知度も徐々に向上しつつあります。また製品面ではお客様のニーズに合わせた機能拡充、サポート面では迅速かつきめ細かな対応を行ってきたことから、新規獲得並びに継続率が好調に推移しております。

以上の結果、当事業の当第2四半期連結累計期間におきましては、過去最高の売上並びにセグメント利益を達成したことから、業績は次の通りとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	643,376	55,645	+9.5
セグメント利益	312,421	91,840	+41.6

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、複数の課金制モバイルサイト等（※）を運営しています。

当期は「OKWAVE Professional」において、9月に資本・業務提携した「趣味なび」に登録する講師らが専門家回答者として活動を開始したのに合わせ、Q&Aサイト「OKWAVE」利用者からの質問を専門家へ通知する仕組みが奏功したことから、専門家回答数が堅調に増加しております。

「OKWAVE Premium」においては、執筆や講演でも人気の内田雅章氏監修の会員制有料Q&Aサービス「人脈の達人 内田雅章」の提供を開始いたしました。しかしながら通信事業者よりプロモーション制限が加わったことから、au「スマートパス」やdocomo「スゴ得」経由の売上高が減少いたしました。

費用面においては、上記プロモーション制限による広告宣伝費の減少に加え、効率的に管理・運営できる開発プラットフォームを構築したことから、利益改善を実現いたしました。

（※）スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	56,534	△22,640	△28.6
セグメント損失(△)	△27,108	10,733	—

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制の多言語コンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供するとともに、バイリンガルや技術者の派遣等を行っております。

近年の訪日外国人観光客の増加を受け、多言語コンタクトサービスへ注力を行っていることから、技術者・一般派遣はサービスを縮小いたしました。このことから前年同期から売上高は減少いたしました。多言語コンタクトサービスは自治体関連など新規案件の獲得が堅調に進んでおります。

利益面におきましては、前期の不採算事業の整理に併せ、原価構造の見直しを行ったことから、大幅な改善となりました。

以上の結果、業績は次の通りとなりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	323,904	△105,287	△24.5
セグメント利益	21,064	18,383	+685.6

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は、主に「差入保証金」及び「長期貸付金」の増加により1,710,171千円（前連結会計年度末比21,386千円増加）となりました。

(イ)負債

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「買掛金」及び「未払消費税等」の減少により386,223千円（前連結会計年度末比11,318千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の増加により1,323,948千円（前連結会計年度末比32,704千円増加）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ19,036千円増加し、881,666千円となりました。また、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、未払消費税等の減少があったものの、減価償却費の計上及び売上債権の減少により、83,190千円の収入となりました。（前年同四半期は44,742千円の収入）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産取得、差入保証金の差入及び貸付けによる支出により、64,334千円の支出となりました。（前年同四半期は76,724千円の支出）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金返済による支出があったものの株式の発行による収入により、399千円の収入となりました。（前年同四半期は18,608千円の支出）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	862,630	881,666
受取手形及び売掛金	330,404	289,487
仕掛品	—	9,239
その他	36,404	51,811
貸倒引当金	△1,303	△826
流動資産合計	1,228,136	1,231,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,446	73,446
減価償却累計額	△52,171	△55,161
建物及び構築物(純額)	21,274	18,284
工具、器具及び備品	366,368	374,810
減価償却累計額	△300,221	△314,704
工具、器具及び備品(純額)	66,147	60,106
有形固定資産合計	87,422	78,391
無形固定資産		
ソフトウェア	31,965	35,530
ソフトウェア仮勘定	13,830	4,944
その他	14,136	14,764
無形固定資産合計	59,933	55,239
投資その他の資産		
投資有価証券	164,046	164,046
その他	212,994	244,332
貸倒引当金	△63,747	△63,215
投資その他の資産合計	313,293	345,162
固定資産合計	460,649	478,792
資産合計	1,688,785	1,710,171
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,008	30,907
未払金及び未払費用	162,614	182,106
未払法人税等	7,165	13,551
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	112,535	91,025
流動負債合計	330,524	325,790
固定負債		
長期借入金	30,800	27,200
資産除去債務	32,642	32,721
その他	3,574	510
固定負債合計	67,017	60,432
負債合計	397,541	386,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,635	981,635
資本剰余金	949,435	951,435
利益剰余金	△635,732	△609,457
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,293,300	1,323,575
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△10,871	△10,623
その他の包括利益累計額合計	△10,871	△10,623
新株予約権	8,814	10,996
純資産合計	1,291,243	1,323,948
負債純資産合計	1,688,785	1,710,171

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	1,399,343	1,178,580
売上原価	864,980	669,133
売上総利益	534,363	509,447
販売費及び一般管理費	580,584	461,186
営業利益又は営業損失(△)	△46,220	48,260
営業外収益		
受取利息	283	407
貸倒引当金戻入額	26,888	531
為替差益	18,126	—
雑収入	2,860	1,154
営業外収益合計	48,158	2,092
営業外費用		
支払利息	652	451
関係会社整理損	—	160
為替差損	—	1,044
持分法による投資損失	12,386	—
雑損失	32	78
営業外費用合計	13,071	1,734
経常利益又は経常損失(△)	△11,133	48,619
特別利益		
投資有価証券売却益	89	—
受取保険金	21,835	—
特別利益合計	21,924	—
特別損失		
固定資産除却損	341	407
減損損失	—	14,838
和解金	7,500	—
特別損失合計	7,841	15,245
税金等調整前四半期純利益	2,948	33,373
法人税、住民税及び事業税	2,922	7,098
法人税等調整額	44,935	—
法人税等合計	47,858	7,098
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,909	26,274
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△248	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△44,660	26,274

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△44,909	26,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	—
為替換算調整勘定	△4,607	248
その他の包括利益合計	△4,621	248
四半期包括利益	△49,530	26,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49,282	26,522
非支配株主に係る四半期包括利益	△248	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,948	33,373
減価償却費	67,354	46,547
のれん償却額	10,136	—
株式報酬費用	4,233	2,181
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,888	△1,008
受取利息及び受取配当金	△283	△407
支払利息	652	451
為替差損益(△は益)	△16,383	467
持分法による投資損益(△は益)	12,386	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△89	—
受取保険金	△21,835	—
和解金	7,500	—
固定資産除却損	341	407
減損損失	—	14,838
売上債権の増減額(△は増加)	51,909	40,917
未収入金の増減額(△は増加)	2,831	65
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,942	△9,101
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△14,749	2,534
その他	△12,414	△44,996
小計	35,710	86,271
利息及び配当金の受取額	283	234
利息の支払額	△631	△449
保険金の受取額	21,835	—
和解金の支払額	△7,000	—
法人税等の支払額	△5,611	△3,082
法人税等の還付額	156	216
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,742	83,190
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	—
定期預金の払戻による収入	2,400	—
有形固定資産の取得による支出	△63,061	△5,454
無形固定資産の取得による支出	△31,465	△25,608
関係会社株式の取得による支出	△10,000	—
関係会社の整理による収入	—	1,205
貸付けによる支出	—	△15,000
貸付金の回収による収入	27,036	1,062
差入保証金の差入による支出	△330	△20,331
差入保証金の回収による収入	256	990
その他	△1,059	△1,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,724	△64,334

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△18,604	△3,600
株式の発行による収入	—	4,000
配当金の支払額	△4	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,608	399
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,766	△219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,823	19,036
現金及び現金同等物の期首残高	654,833	862,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	616,010	881,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	営業アウト ソーシング 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	252,406	587,731	79,174	429,192	50,840	1,399,343	—	1,399,343
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	—	33	—	1,533	△1,533	—
計	252,406	589,231	79,174	429,225	50,840	1,400,877	△1,533	1,399,343
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	24,839	220,581	△37,842	2,681	△1,130	209,129	△255,350	△46,220

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープ ライズソリ ューション 事業	ナレッジ マーケット 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	154,766	643,376	56,534	323,904	1,178,580	—	1,178,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,500	—	206	1,706	△1,706	—
計	154,766	644,876	56,534	324,111	1,180,287	△1,706	1,178,580
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△8,498	312,421	△27,108	21,064	297,878	△249,617	48,260

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては14,838千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

営業アウトソーシング事業は、前連結会計年度にて終了しました。